



「ここから はじまる」 岡山で559人が学習・交流

第24回全国女性教職員学習交流集会を開催

10月11、12日、全教女性部、教組共闘連絡会、現地実行委員会が主催する第24回全国女性教職員学習交流集会在、岡山県岡山市で開催されました。現地岡山をはじめ、全国から559人が集い、学習と交流を深めました。現地実行委員会の岡山高教組のみなさんの奮闘で、第1回の集会開催地から新たな女性教職員の運動を踏み出す意義ある集会となりました。

文化行事 「アロハアイーナ・フラスタジオ」の皆さんによるハワイアンダンス

集会のオープニングは、「アロハアイーナ・フラスタジオ」の皆さんによるハワイアンダンスでした。一心に踊る子どもたちの笑顔、指先まで心のこもった動きに、会場中が感動につつまれました。特に最後に東日本大震災・福島原発事故の被災者の方々に思いを寄せて、復興への祈りを込めて踊った「花は咲く」には「思いを込めた踊りは人に伝わる」との感想が寄せられました。



【感想から】

- ・子どもたちのフラダンス、歌いながら踊る、心がこもっていて涙が出ました。情緒豊かな心が洗われるダンスですね。憧れます。
- ・文化行事のフラダンス、とてもすばらしかったです。子どもたちがフラリズムを感じながら、ゆったりと踊っているのを見て、癒されました。

現地実行委員会による構成劇・合唱 「ここからはじまる～OKJ～」



現地実行委員会による構成劇・合唱「ここからはじまる～OKJ～」は、約50人の出演者・スタッフの皆さんの力を寄せ合った熱演となりました。構成劇は、今押しすすめられている「教育再生」や教職員の働き方にかかわる様々な問題に対して、教職員や子どもの思いを大切に教育を守ろうとする岡山の皆さんのとりくみを、桃太郎伝説に重ね合わせて描いたものです。オリジナルの曲・ダンスとともに、岡山のおんな先生達のぼやき、そしてタイムスリップして登場する古代吉備

の国での話に、「皆さんの演技力の高さに驚きました。テンポも良く、かなり練習されたのだろうなと思い、お忙しい中、頭が下がるばかりです。岡山の伝説も、うまく構成されていて、見ていて、おもしろかったです」などの感想が寄せられました。

【感想から】

- ・本当に桃太郎伝説、興味深いです。“歴史は勝者によって変えられる！”現代に通じるものを感じました。でも、真実はひとつ！犬・サル・キジトリオよかったです。



演技力を高く評価された「いぬ・さる・きじ」の皆さん

記念講演 「へいわってどんなこと？」 講師：浜田桂子さん（絵本作家）



記念講演は、「へいわってどんなこと？」と題して、絵本作家の浜田桂子さんが行いました。浜田さんは、常々『平和ってどういうことなのか』を、もっと日常的な子どもたちの生活につながる言葉にできないだろうか」と考えてきました。第1次安倍内閣が「美しい国をつくる」と言って登場した時、これからどうやって、日本の子どもたちが中国や韓国の子供たちと連帯していくことができるだろうか」と危機感を持ちます。そして、大人同士はごくしゃくしても、子どもたちはお互いの本を読んで育っている。中国、韓国の作家と一緒に絵本を作ろうと訴えたらどうだろうか、と考えます。様々な紆余曲折を経ながら、2007年11月に12人の作家がとにかく集まり、とことん語り合えたことが、その後どんなことがあっても手をつなぎ合うことができる出発点となりました。

そして、2011年4月浜田さんの「へいわってどんなこと？」が出版されます。その後浜田さんは、日本各地の学校で読み聞かせをし、子どもたちと感想を交流していきます。また、中国、韓国、そして北朝鮮でも浜田さんの読み聞かせと交流は重ねられていきます。子どもたちとの交流から「子どもたちは、本当に平和を願っている。みんな仲良くしようという思いが強い。『共感』を強く望んでいる存在が子ども」と浜田さんは語りました。

同時に日本の子どもたちがとても厳しい状況におかれていることも、実感していきます。「僕は、生まれてこなければよかったとずっと思っていたけれどこの絵本に『平和って生まれてきてよかった』とあったので、『生まれてきてよかった』と正しいのだと思った」との感想に衝撃を受けたと語りました。日本の各地でぽつぽつと出てくるこうした自己肯定感、自尊感情の低さは、他国では見られないものだそうです。

「自分が愛され大切にされている実感が、命への共感を育む」「命への共感、平和構築への支柱」との浜田さんの言葉を共有した講演となりました。

参加者の感想から

- 浜田さんの絵本をご本人の声で読み聞かせしていただけるなんて、こんな機会はないと思います。ちょうど公民の授業で憲法をやっているのです、この絵本を生徒に紹介し、「平和」を考えさせたいと思います。
- 浜田先生のご講演、先生の美しい日本語に聞きほれました。以前子どもたちに読み聞かせしましたが、作品の背景をうかがい、深い思いを子どもたちに改めて読み聞かせをし、伝えたいと思いました。
- 浜田桂子氏の講演は、おだやかな語り口調で、特に情熱的な起伏のあるわけでもないが、発想が素晴らしく、一歩ふみだしたことがすごく、交流を重ねてなすとげるまでの経緯もすばらしく、できあがったものも感動的で、そのあとの子どもたちのやりとりもよく分かった。大変よかったです。
- 浜田桂子さんの講演よかったです。へいわって、一人一人が、自分を好きでいられることだと思いました。今の学校、今の政治はその逆をいって、怖いですね。
- 自尊の意識を持たせてあげたいと思いました。高校ですが、生徒に読んであげたいと思います。思考が言葉の選び方と密接に結びついていることを改めて考えさせられました。

参加証は「ココカラ・ハート」

「フェルトのハートを組み合わせて、キラキラビーズをあしらいたいモイメージの参加証を各分会で作りました。」（速報1号から）

